



十二月 (大) 師走

鬼宿

十月七日大雪の節より
月命甲子一白水星の月
暗剣殺北の方

旧 十月大
十一月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	日	かのとうし	五黄	歳末助け合い運動、エイズの日、映画の日、鉄の記念日 旧十月大	廿九	友引	み	房	五	五	五	五
2日	月	みづのえとら	四緑	●朔九時二分、秩父夜祭、障害者週間 旧十一月小	卅	先負	たいら	心	大	大	大	大
3日	火	みづのとう	三碧	●朔九時二分、秩父夜祭、障害者週間 旧十一月小	朔	大安	だん	尾	大	大	大	大
4日	水	きのえ たつ	二黒	人権週間	二	赤口	とる	箕	大	大	大	大
5日	木	きのえ	一白	納めの水天宮	三	先勝	やぶる	斗	大	大	大	大
6日	金	ひのえ	九紫	小田原秋葉権現火防祭	四	友引	あやぶ	牛	大	大	大	大
7日	土	ひのと	八白	大雪八時〇九分、不成就日 ●上弦〇時一分、世界人権デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭	五	先負	あやぶ	女	大	大	大	大
8日	日	つちのえ	七赤	納めの薬師、成道会、こと納め、針供養	六	佛滅	なる	虚	大	大	大	大
9日	月	つちのとり	六白	京都了徳寺大根焚き、漱石忌	七	大安	おさん	危	大	大	大	大
10日	火	かのえ いぬ	五黄	●上弦〇時一分、世界人権デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭	八	赤口	ひらく	室	大	大	大	大
11日	水	かのえ	四緑	一粒万倍日	九	先勝	とる	壁	大	大	大	大
12日	木	みづのえ	三碧	八せん始め、一粒万倍日	十	友引	た	奎	大	大	大	大
13日	金	みづのとうし	二黒		十一	先負	のぞく	妻	大	大	大	大
14日	土	きのえ	一白	東京高輪泉岳寺義士祭、三隣亡	十二	佛滅	み	胃	大	大	大	大

一年の締めくくりの月であり、年間を通じて最も日の短い月である。
この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであるうか。
年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭りがあがるが、だいたいが納めや供養である。
今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理することで、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあるれば心に響くべきであろう。
【祭】歳暮とは元来年の暮のことであるが、日ごろ世話になつていたり人や親戚などへの贈り物がお礼心として「お歳暮」というならわしになった。
正月始めは、この月の八日か十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	日	きのえ	九紫	年賀郵便特別扱い、東京世田谷ポロ市、不成就日	十三	大安	たいら	鼎	大	大	大	大
16日	月	ひのえ	八白		十四	赤口	さだん	畢	大	大	大	大
17日	火	ひのと	七赤	●望一八時二分、東京浅草観音蔵の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭	十五	先勝	とる	觜	大	大	大	大
18日	水	つちのえ	六白	納めの観音	十六	友引	やぶる	参	大	大	大	大
19日	木	つちのひ	五黄		十七	先負	あやぶ	井	大	大	大	大
20日	金	かのえ	四緑	庚申	十八	佛滅	なる	鬼	大	大	大	大
21日	土	かのとり	三碧	納めの大師	十九	大安	おさん	柳	大	大	大	大
22日	日	みづのえ	二黒	冬至二時一分、ゆず湯	廿	赤口	ひらく	星	大	大	大	大
23日	月	みづのど	一白	●天皇誕生日、八せん終り、一粒万倍日、不成就日	廿一	先勝	とる	張	大	大	大	大
24日	火	きのえ	ね	クリスマス・イブ、納めの日蔵、九尾陽道始め、天しゃ、甲子、一粒万倍日	廿二	友引	た	翼	大	大	大	大
25日	水	きのえ	二黒	●下弦二時四八分、クリスマス、終い天神、蕪村忌	廿三	先負	のぞく	軫	大	大	大	大
26日	木	ひのえ	三碧	三隣亡	廿四	佛滅	み	角	大	大	大	大
27日	金	ひのと	四緑	官庁御用納め	廿五	大安	たいら	亢	大	大	大	大
28日	土	つちのえ	五黄	納めの不動	廿六	赤口	さだん	氐	大	大	大	大
29日	日	つちのど	六白	己巳	廿七	先勝	とる	房	大	大	大	大
30日	月	かのえ	七赤	大つち	廿八	友引	やぶる	心	大	大	大	大
31日	火	かのと	八白	年越し、大はらい、除夜の鐘、男鹿なまはげ、出羽三山松例祭、不成就日	廿九	先負	あやぶ	尾	大	大	大	大

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。
二十一日前後は二十四節氣の一つ「冬至」があるが、この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方によりそれぞれ行事を持つといつてゆず湯に入る習慣は全国的に知られていよう。
二十三日は「天皇誕生日」である。
二十五日はキリストの降誕日で、その前夜の「クリスマス・イブ」とともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。
新年を迎える飾り物は、三十日までにとのえるが、二十九日は苦節り、三十一日は一夜飾りといつて嫌うので早目の準備を心掛けよ。
大晦日(おみそか)の夜は神棚にお灯明をあげたり、年越しそば(みそかそば)を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地により独特の習慣を持つていたりする。